

自然観察の森を総合的な学習の時間で利用するまでのチェックリスト

テーマとまとめ方の決定

検討に必要な情報・ツールを入手する。

自然観察の森をどんなテーマで活用するのか検討する。

(自然観察の森のパンフレットなど資料を入手して、どんな活用方法が可能かを検討する)

プログラム体験後に、学校でどんなまとめ方をするかのまで、考えておく。

プログラムの決定

テーマとスケジュール、季節などを決め、このティーチャーズガイドを参考にし、どんなプログラムを実施するか決める。雨天対策についても検討しておく。

特に、実施するプログラムについて、ねらいや実施方法について理解しておこう。(わからないことは、レンジャーに相談しよう)

スケジュールの検討

実施日時、下見・相談の日程、おおまかなスケジュール、交通手段を決める。

観察の森の下見・レンジャーへの相談・施設利用の依頼

* はじめて自然観察の森を利用する場合にはなおさらですが、自然観察の森に実際に出かけてみて、現場の下見をした上で(あるいはしながら)レンジャーと打ち合わせをするようにしてください。必ず事前にレンジャーと日程調整の上、お出かけ下さい。

学校の方で検討した、自然観察の森を活用したプログラム実施案について、レンジャーに相談する。

想定している日に施設が利用可能かどうか、レンジャーの対応が必要な場合は、対応が可能かどうかを確認する。

レンジャーと下見・打ち合わせの日程を調整する。

先生とレンジャーの役割について確認する。複数の先生が引率する場合は、先生間の役割分担も明確にしておこう。また観察の森との窓口となる先生も決めておこう。

施設の確認(トイレ、昼食を食べる場所、雨天の一時避難場など)と当日使用する施設について相談する。

プログラムに必要な機材の中で、貸し出してもらえるものと、自分で準備するものについて明確にする（レンジャーに相談すると良い）。

雨天の場合の対応について、レンジャーに相談する。室内プログラムに移行する場合には、事前に会議室などの確保が必要。

施設利用の申し込みが必要な場合は、申し込みをする。

プログラム実施中の緊急時連絡先、救急病院などについて確認する。

危険な生物について確認する（ハチ、毒ヘビ、ウルシ、ドクウツギなど）。

危険な箇所について確認する（迷いやすい場所、すべりやすい場所など）。

事前準備

先生の持ち物（救急用具など）と生徒が持ってくるものを決める。

チラシなどを作成したか

（テーマ、日時、スケジュール、プログラム、交通手段、持ち物が確定したら、チラシを作ろう。目的・ねらいの共有化や持ち物などの準備を徹底するのに役立ちます。）

先生の役割（特にプログラムのねらいを達成するための役割）を確認しあう。

当日観察の森での確認事項

予定したコース、プログラムが実施可能かどうかを、直前にレンジャーに確認する。前日の雨などで、使用不可能な場所や危険箇所がないかどうか、またウルシやスズメバチなどの危険な生物についても再度レンジャーに確認しよう。

持ち物で忘れたものがないかどうか。プログラム開始前であれば、センターから借りられる場合もある。

プログラムを開始するときに、マナーへの意識やごみの持ち帰り、子どもたちに緊張感を持たせるような話をする時間が組み込まれているか。先生方には火気厳禁を徹底しよう。

事後

自然観察の森を利用して初めての感想や、次回以降によりよい活用・活動をしていくための改善点などについてまとめ、自然観察の森にフィードバックしよう。同時に、森のレンジャーからも実施した活動について意見をもらおう。